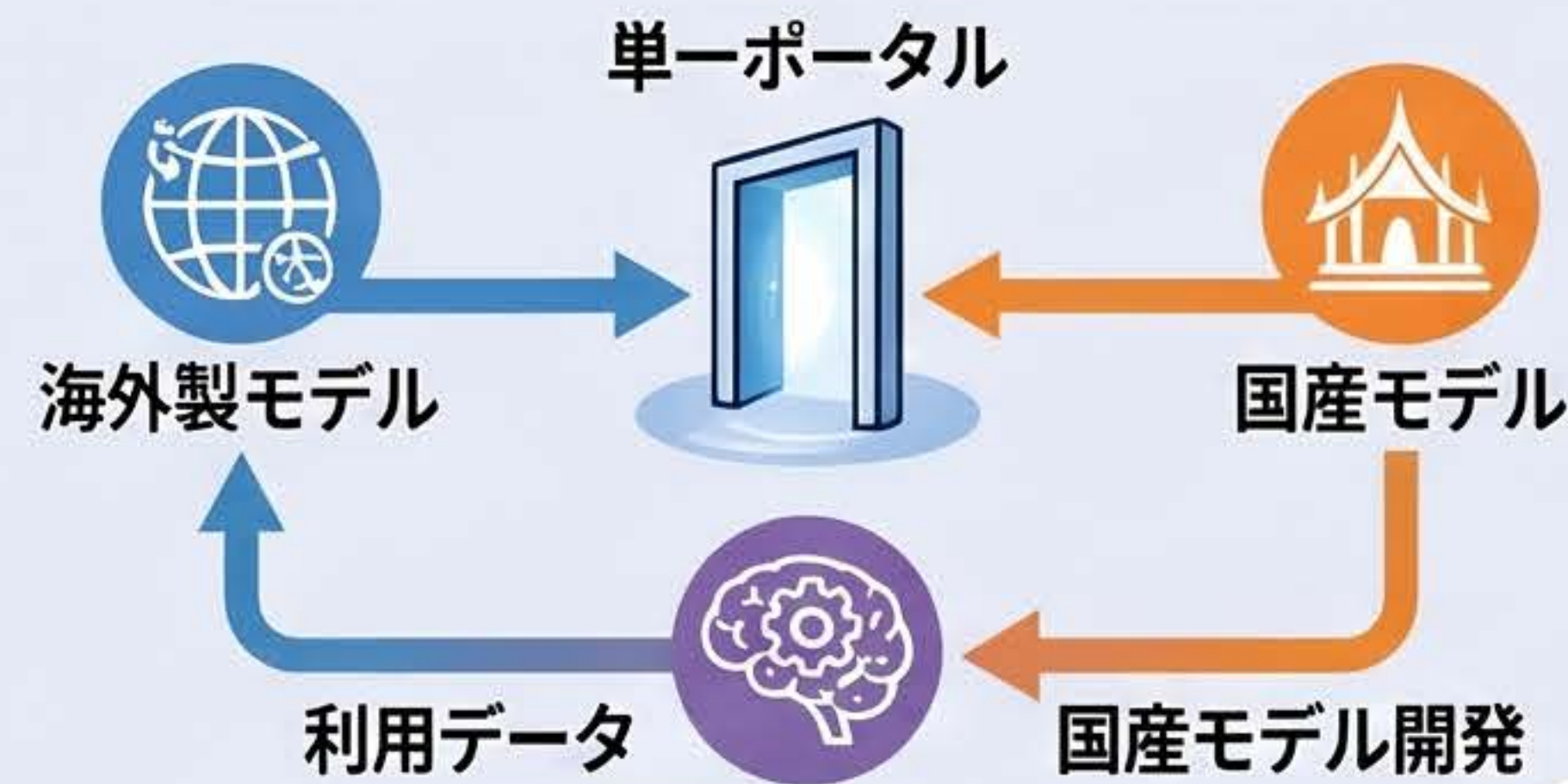


ソブリンAI：国家主導の社会実装と戦略的パラダイムシフト

AI競争は民間主導の「モデル規模」競争から、国家が「最大の調達者」として市場に介入し、社会基盤としてのAI (ソブリンAI) を構築するフェーズへ移行しました。各国は自国の強みに合わせ、供給側 (研究開発) から需要側 (公共調達・現場実装) へと重心を移しています。

5カ国のソブリンAI戦略モデル

タイ：実利的一括集積モデル



英国：VC型公共調達モデル 公共課題解決



主要国の設計思想と政府の役割

	国名	中核戦略	政府の役割	ソブリンAIへのアプローチ
	中国	AI応用サービス育成	産業エコシステム親括者	現場常駐部隊 (FDE) による製造現場の掌握
	日本	GENIAC / フィジカルAI	上流研究開発支援者	製造業・ロボティクスと融合した特定領域の不可欠性確保

韓国：排他的内製化モデル



日本：GENIAC / フィジカルAI



日本の構造的針路と転換点

供給側支援から「需要牽引」への断絶



製造現場のロボティクスと融合層

フィジカルAIへの戦略的ピボット



製造現場・ロボティクス制御層を掌握

実装のラストワンマイル「FDE」



現場の業務プロセス再設計